

INTALOGIC5 テクニカルレポート

<本書について>

本書は、INTALOGIC5における既知の不具合、およびその回避方法・発生時の対処方法について記載したものです。
ご不明点や詳細については、右記のINTAconnectionテクニカルセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

株式会社アイ・エル・シー
ILCテクニカルセンター

TEL: 082-262-7799
FAX: 082-263-4411
E-mail: fa@ilc.co.jp

更新日: 2026/8/31

管理番号	対象機能/画面	発生バージョン	現象	発生条件/手順	回避/対処方法	影響/注意点	修正Ver.
L50-001	モニタ (LD)	2.06.000以降	モニタ中にSET/RESET等の確認ダイアログを閉じた後、LD編集画面が操作不能になることがある(キー入力/クリックが反応しない)。	1.LDのPOUを開く 2.モニタ開始 3.各種ダイアログの閉開を繰り返す	【回避方法】 確認ダイアログの高速な連続閉開を避ける。 【対処方法】 タスクバーのINTALOGIC5を右クリック→「ウィンドウを閉じる」→再起動。	現象発生時にEDITOR操作を継続不可。(回避/対処可能)	2.08.000
L50-002	POU設計画面 (FBD)	2.06.000以降	FBDで入力端子を追加後「元に戻す」を実行すると、入力数は戻るがファンクションボックスの高さが元に戻らない。	1.FBDのPOUを開く 2.ADD等を配置 3.入力追加 4.元に戻す	【対処方法】 POUを閉じて再度開き直す。	機能への影響なし。(表示不具合)	2.07.000
L50-003	POU設計画面 (FBD)	2.06.000以降	POU表示が「ウィンドウ」の状態ではPOUを閉じた後、POU表示を「全画面」に切り替えると、閉じたはずのPOUが再表示される。	1.オプション設定でPOU表示「ウィンドウ」を選択 2.POUを閉じる 3.オプション設定でPOU表示「全画面」へ変更。	【対処方法】 再表示されたPOUを再度閉じる。必要に応じてPOUを開き直す。	機能への影響なし。(表示不具合)	2.07.000
L50-004	POU設計画面 (LD)	2.06.000以降	表示倍率ペインにフォーカスがある状態で、画面右上の「最小化/最大化/閉じる」ボタンが機能しない。	1.LD言語POU編集画面を最大化 2.表示倍率領域を選択 3.右上ボタンを操作	【回避方法】 表示倍率ペイン以外(編集エリア等)をクリックしてフォーカスを移してから右上ボタンを操作。	操作性への影響あり。 プログラムデータ/制御動作への影響なし。	2.07.000
L50-005	印刷プレビュー (LD)	2.06.000以降	印刷プレビュー内でマウスホイールを回してもページが切り替わらない(スクロールバーは動く)。	1.印刷プレビューを開く 2.マウススクロールする	【対処方法】 プレビュー画面の[次ページ][前ページ]ボタンでページを切り替える。	操作性への影響あり。 プログラムデータ/制御動作への影響なし。	2.07.000
L50-006	POU設計画面 (ST/LD)	2.06.000以降	STとLDのPOUを両方開いた状態で、STを最前面にしたままPOU表示をウィンドウ→全画面へ切替ると、LD画面が表示されることがある。	1.ST/LD POUを両方開く 2.ST POUを最前面に表示する 3.POU表示を全画面へ切り替える	【対処方法】 目的のPOU(ST)を選択し直す/POUを開き直す。	機能への影響なし。(表示不具合)	2.07.000
L50-007	POU設計画面 (FBD)	2.03.003以降	FBDで右端に配置したボックスが、表示倍率を上げた状態で表示されないことがある(印刷プレビューでは表示される)。	1.表示倍率を上げた状態でネットワークの最右端へスクロールする	【対処方法】 表示倍率を縮小すると表示される。倍率を下げて配置/編集する。	操作性への影響あり。 プログラムデータ/制御動作への影響なし。	2.07.000
L50-008	POU設計画面 (FBD)	2.06.000以降	複数のFBD POUを全画面で開いた後、表示モードを全画面→ウィンドウに切替えると、後から開いたPOUの配線/コネクタ表示が崩れることがある(接続自体は保持)。	1.FBD POUを複数開く(全画面) 2.表示モードをウィンドウへ切り替える	【対処方法】 表示が崩れたPOUを一度閉じ、再度開く。	機能への影響なし。(表示不具合)	2.07.000
L50-009	オプション設定	2.06.000以降	オプション設定でファンクションキー表示を変更し[適用]しても、LD/ST Editorの表示がすぐに切り替わらないことがある。	1.POUを開いた状態で[オプション設定]を開く 2.表示切り替えを行い[適用]ボタンを押下	【対処方法】 オプション設定ダイアログを閉じ、対象POUをクリックして表示を更新する。	機能への影響なし。(表示不具合)	2.07.000

管理番号	対象機能/画面	発生バージョン	現象	発生条件/手順	回避/対処方法	影響/注意点	修正Ver.
L50-010	モニタ (FBD)	2.00.000以降	モニタ中に[配列要素]ダイアログの「現在値」欄でSpaceキーを押しても編集状態にならないことがある。	1.配列変数を使用するPOUをモニタ開始する 2.[現在値表示]ボタンを押下する 3.[配列要素]-[現在値欄]でSpaceキー押下	【対処方法】 Spaceではなく、現在値セルをマウスでクリックして編集状態にしてから入力する。	操作性への影響あり プログラムデータ/制御動作への影響なし	2.07.000
L50-011	モニタ (FBD)	2.06.000以降	FBDのモニタ終了後に編集状態へ戻っても、ブレークポイント表示やステップ表示(グレー部)が残ることがある。	1.モニタ開始 2.ブレークポイント設定 3.モニタ終了	【対処方法】 ブレークポイントを解除/オールクリアする。表示が残る場合はPOUを開き直す。	機能への影響なし(表示不具合)	2.07.000
L50-013	プログラム書き込み	2.06.000以降	プログラム書き込み中にEDITORのメインウィンドウをクリックすると、ポップアップダイアログがEDITOR裏側に移動してしまい操作継続不可になる。	1.プログラム書き込み 2.待機画面表示中にEDITOR画面をクリック	【回避方法】 プログラム書き込み時の待機画面表示中にINTALOGIC5 EDITOR画面を操作しない。 【対処方法】 Win + TAB キーによりポップアップダイアログを前面に表示し、操作を再開する。	現象発生時にEDITOR操作を継続不可(回避/対処可能)	2.07.000
L50-014	POU設計画面 (FBD)	2.06.000以降	FBDでボックスの位置変更後に保存確認ダイアログなしでPOUを閉じることが出来てしまう。	1.FBD設計画面を開く 2.ボックスの編集操作を行う 3.POUを閉じる	【回避方法】 POU保存後、POUを閉じる。	プログラムが正常に保存されない(回避可能)	2.07.000
L50-015	変換/設計チェック	2.06.000以降	変換/設計チェック時に稀にEDITORが応答なしとなる場合がある。	1.変換/設計チェックを行う	【対処方法】 EDITORを終了し再度変換/設計チェックを行う。	通常の使用方法で遭遇する可能性は低い。	2.08.000
L50-016	変換/設計チェック (LD)	1.00.000以降	LDで検索機能実行後、検索順表示状態で、変換または設計チェックを行うとEDITORが強制終了する。	1.LDで検索表示状態にする。 2.設計チェックを行う。	【回避方法】 一度ステップ数表示に戻して、操作する。	Editorが強制終了する。	2.08.000
L50-017	モニタ (FBD)	2.00.000以降	FBDモニタ中に、特定文字数以上の変数名の配列変数の要素ごとの現在値を表示・変更できない。	1.変換/設計チェックを行う	【回避方法】 配列を使用する場合、変数名を26文字以下とする。	配列変数をモニタ不可(回避可能)	2.09.000予定
L50-018	モニタ(LD・ST・FBD)	2.00.000以降	モニタ可能な最大点数を超過してモニタしたときの値の表示がPOUの言語や対象のデータ型によって統一されていない	1.モニタ可能な最大点数を超過したOMや変数を使用するプログラムを作成する 2.RUNTIMEに書き込み、モニタする	機能への影響なし	機能への影響なし(表示不具合)	2.08.000
L50-019	プロジェクト照合 (FBD)	2.00.000以降	FBDのPOUを含むプロジェクトAと、Aを[名前を付けて保存]を行い、それ以外の変更を加えていないプロジェクトBがあるとき、この2プロジェクトでプロジェクト照合を行うと、照合結果でFBDプログラムが不一致と表示される	1.FBDプログラムを含むプロジェクトを開く。 2.[名前を付けて保存]を実行し、別のプロジェクト名または保存先でプロジェクトを保存する。 3.元のプロジェクトと、[名前を付けて保存]で作成したプロジェクトに対してプロジェクト照合を実行する。 4.照合結果を確認する。	【回避方法】 発生条件に示す差異のある状態で、プロジェクト照合を行わない	操作性への影響あり プログラムデータ/制御動作への影響なし	2.08.000